

モンタナ州：小麦作柄と気象状況

2005年4月6日

2005年4月4日現在

4月4日に終わる1週間のモンタナ州の気象は、前週より気温が上がり、降雨はSW地区以外では殆ど無かった。NC地区での最高気温は64~70度F、NE地区では69~77度Fとなった。昨年10月1日からの積算降水量は、NC地区では平年の凡そ85~114%、NE地区で82~102%、Cent.地区では60~99%であった。

Topsoil 及び Subsoil の土壌水分は、昨年同期と比較し悪い状態であった。

冬小麦の作柄は、前週の評価より多少落ちた。昨年同期と比較すると、今期の評価は昨年より低くなっていた。冬小麦の約22%(昨年:37%)が休眠から覚め、緑化し生育を開始した。昨年より遅い進展である。

春小麦の播種が開始されたが、限られた地区である。農作業が始まった圃場は全州の8%である。昨年同期では11%の圃場での作業が始まっていた。

2005年3月31日農務省の発表によれば、2005年産冬小麦の作付面積予想は、2,150,000 エーカーであり、昨年の1,900,000 エーカーに対し13%の増加であった。春小麦の作付面積予想は、HRSは2,600,00 エーカー(昨年:3,000,000 エーカー。13%減)、Durumは560,000 エーカー(昨年:570,000 エーカー。2%減)であった。昨年良好であった冬小麦の作付けが増加し、一方春小麦の作付けが減少する見込みである。

土壌水分：2005年4月4日現在

Topsoil

	This Month	Last Month	Last year	5-yr. Ave.
Very short (%)	29	22	17	NA
Short (%)	34	33	27	NA
Adequate (%)	32	41	51	NA
Surplus (%)	5	4	5	NA

Subsoil

Very short (%)	53	55	29	NA
Short (%)	30	31	35	NA
Adequate (%)	16	13	33	NA
Surplus (%)	1	1	3	NA

冬小麦生育状況：4月4日現在

Conditions	This Month	Last Month	Last Year	5-year Ave.
Very Poor (%)	4	1	6	NA
Poor (%)	9	11	14	NA
Fair (%)	45	44	38	NA
Good (%)	33	38	39	NA
Excellent (%)	9	6	3	NA

小麦生育状況：4月4日現在

	This Week	Last Week	Last Year	5-yr Ave.
Winter W. Growing (%)	22	9	37	NA
Spring W. Planted (%)	2	1	2	NA

Source: Montana Agricultural statistics Service

当該作物と気象報告に関するご質問は下記にお願い致します。

小川正晃：<mailto:ogawa.max@omicnet.com>